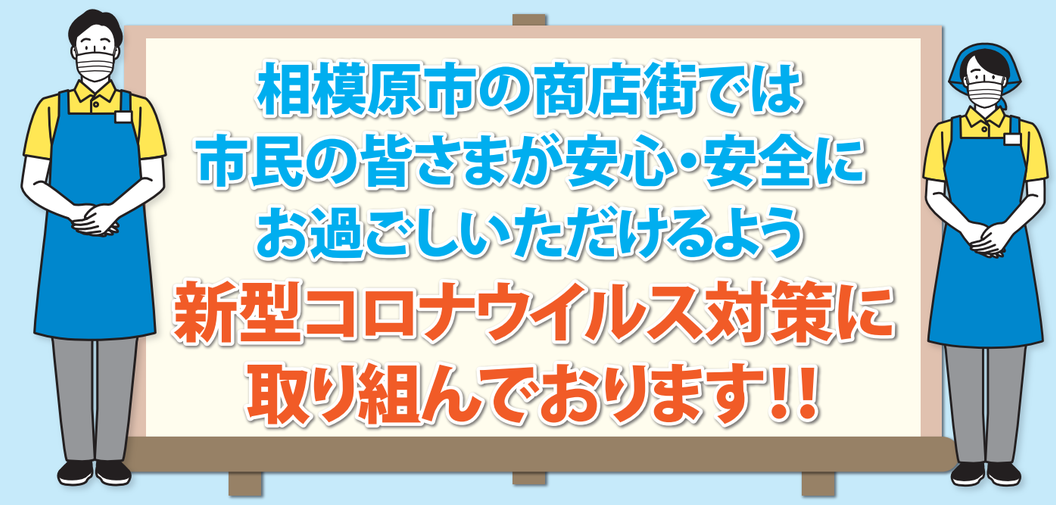
さがみはら
# 商店街力UP! だより
第14号

相模原市商店街地域貢献活動推進協議会／相模原市商店街加入促進連絡協議会
令和３年３月10日

## 相模原市の商店街は、新型コロナに負けません！




### 商店街の３つのお約束

①従業員はマスク着用します！

②従業員の検温と手洗いを徹底します！

③こまめに店内を換気・消毒します！

～お客様にお願い～　店舗入口で消毒をはじめとする感染予防対策にご協力をお願いします

インタビュー

## 商店街力UP!の秘訣とは？

３商店街の代表者の方々に、
商店街運営の
ポイントや活性化方法、
将来への展望をお聞きしました。

相模原中央商店街協同組合
**横山 房男 理事長**

### 考えることを止めない

コロナ禍以前から、商店街の在り方というものが変わってきていると感じています。人もまちも変化していく中で、過剰なサービスを続けていては体力が持ちませんし、大型店と協力していくことや、自治体との連携も大事だと考えています。

各々の店の営業に関しては店主の仕事であり、商店街としては環境を整えることが仕事だと捉えています。駅から遠いという立地条件を逆に活かし、独時のＰＲをできるよう、見通しが立たずとも考えることは止めずにいたいと思います。

上溝商店街振興組合
**鈴木 崇之 理事長**

### まち全体で連携を

上溝を観光地化できないかというイメージがありましたが、考え直さないといけない状況となりました。どのまちも同じかと思われますが、積極的にイベントができない中で来街者を増やすにはどうするべきかが課題となります。そのためにも自治会や社会福祉協議会などと協力し、まち全体で連携していくことが重要です。

加盟店、お客様ともどもの不安を取り除けるような取り組みをしていけるよう、様々なアイデアを吸い上げ、スムーズに事業を展開できるように努めていきたいです。

サウザンロード相模台商店街
**古定 謙一 会長**

### 商店街は まちに住む人のもの

コロナ禍がいつか終息すると考えていては、消耗するばかりで先がありません。この状況は変わらない、コロナと共存するという気持ちで考えを巡らせなければならないと思っています。可能な限り会員さんへのフォローをしていきたいです。

商店街は商店街だけのものではなく、まちに住む人のものであり、コミュニケーションの場です。地元第一であるという志は変えずに、そこに基づいた事業を展開して人が集まるまちを作っていきたいですね。

さがみはら 商店街力UP! だより 第14号

発行日 令和３年３月10日　発 行 相模原市商店街地域貢献活動推進協議会、相模原市商店街加入促進連絡協議会
事務局 相模原商工会議所 経営支援課　〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3　TEL.042-753-8135　FAX.042-753-7637

# 地域とつながる商店街

地域に密着した商店街では、それぞれ独自の事業を展開し、まちの活性化に努めています。今回は、３つの商店街の事業にスポットを当て、それぞれの商店街がどのように地域とつながっているかをご紹介します。

## 相模原中央商店街協同組合

神楽と獅子舞も盛り上がりを見せた

### 密にならないイベント開催

国道 16 号線や市役所も含む広大な範囲の相模原中央商店街。横山房男理事長は「駅から離れていて平面的なエリアなので、しっかりとＰＲする必要があると考えてきました」と話します。コロナ禍においては、どのように活動してきたのでしょうか。

緑を基調とした商店街マップ

相模原中央商店街では、相模原市の補助金を３つの事業に活用しました。１つめは加盟店舗に感染防止のための物資の配布。２つめは商店街マップの制作。３つめは例年行われていた歳末感謝祭とペインティングパフォーマンスを融合させたイベントの開催です。

横山理事長は「経験のない事態に見舞われ、苦しい状況が続いています。補助金はまず、感染防止対策のため、アクリル板のパーテーションや消毒液、体温計などを加盟店舗に配布することから使用しました」と話します。加盟店舗もお客様も安心できるよう、商店街全体の衛生環境を整えました。

商店街マップの制作にあたっては、どのような点に注力したのでしょうか。横山理事長は「商店街の魅力を簡潔に伝えることと、ピックアップした店舗もそうですが、客観的な視点を重視しました」と話します。商店街のマスコットキャラクター・こけ丸に合わせた、緑を基調としたマップが完成しました。

ペインティングパフォーマンスの様子

昨年 12 月に行われたイベント「笑門来福 × ペインティングパフォーマンス」は、19・20 日の２日間にかけ、６会場で行われました。「無償提供のサービスは接触や密を避けるためには開催できないと判断し、歳末感謝祭の時期になにができるかと考えた結果、恒例となったペインティングパフォーマンスに神楽と獅子舞をプラスしたイベントを開催することにしました」と横山理事長。年末の一大イベントとして、商店街の存在感を示しました。横山理事長はさらに「６エリアに分け、時間別で開催することによって密を避けることもできました。大きな動きで魅せる催しなので、離れて見ても楽しめる内容だったことも功を奏したかもしれません。このような状況であっても、何かをやり続けることが大事だと思います」と笑顔で話してくれました。

## 上溝商店街振興組合

七福神仕様のダルマも制作

### 縁起の良いまちに

相模原市内でも歴史が深く、朝市やダルマ市、そして例年多くの人が集まる夏祭りで知られる上溝。上溝商店街振興組合が実施するコロナ禍での取り組みについて、鈴木崇之理事長にお話を聞いてきました。

御朱印帳は２種類用意

「感染対策に関しては、各店舗へ消毒液などの備品の配布。それとキャッシュレス決済の整備は以前から進めていたので、スムーズにいきました。今後はＰＣＲ検査キットの購入も考えています」と鈴木理事長。１月には新しいイベントも開催しました。「昨年も今年も、コロナ以前に東京オリンピックとの兼ね合いもあり、夏祭りの開催を断念せざるを得ませんでした。そこでもう一つ名物イベントを生み出さなければと始めたのが『溝の七福神』でした」と話す鈴木理事長。

１月に開催された溝の七福神は、商店街の各所に設置された七福神像を巡り、それぞれの像の担当店舗で御朱印を集め、希望した七福神の人形がもらえるというイベントです。開催にあたっては細心の注意を払いました。鈴木理事長は「人数制限を設け、参加者には検温をしてもらい、それを示すシールを貼ってもらいました。一ヵ所に人を集めるイベントではないので、うまく密を避けられました」と話します。ＳＮＳでの周知もあり、制限人数の過半数に届く参加者が訪れました。今後は季節ごとに年４回の開催を目指すということです。

商店街の各地に七福神像が

「本来、七福神めぐりに合わせてお祭りもやる予定でした。相模線沿線を盛り上げたいという気持ちも強かったので、とても残念ですし、いつか開催したいです」と鈴木理事長。昨年６月にはドライブスルー方式の飲食イベント「みぞめし」も開催。コロナ禍でも商店街のＰＲにつながる試みを日々考えているそうです。「例年商店街で開催していた『サンマまつり』が仕入れの問題で開催できなくなったところ、自治会で引き継いでくれました。嬉しいですし、そうやってまち全体で協力しあって盛り上げていきたいですね」と鈴木理事長。上溝を〝縁起のよいまち〟としてＰＲしていきたい、と意気込みます。

## サウザンロード相模台商店街連合会

誌面には商店街の顔がズラリ

### 商店街は顔が命

小田急相模原駅から伸びる、全長約１キロに及ぶサウザンロード相模台商店街連合会。３つの商店会からなる同商店街では、このコロナ禍でどのような事業を行ったのでしょうか。

表紙も面白味のあるものに

「マスクによって店員の表情が分からないという声を聞き、商店街の魅力を顔とともに伝えようと『顔がみえる商店街』をテーマに冊子を制作しました。商店街は人と人が笑顔を交わす場所。顔が命と思っています」と話すのは古定謙一会長。制作した冊子は全 30 ページ。商店街マップから始まり、３商店会から 79 店舗が参加したメインページには、ユーモアのあるキャッチコピーが載ったスタッフの写真が並びます。古定会長に手ごたえを伺うと、「楽しく読んでもらえているようです。ＳＮＳでの反響もあり、ＰＲに役立ったと感じています」と笑顔を見せます。また、商店街のオフィシャルサイトもリニューアル。冊子の内容を反映し、よりお店の魅力が伝わるものとなりました。

感染対策について聞くと、「マスク、体温計、アルコール噴霧器やフェイスシールド、ウェットティッシュなどを加盟店舗に配布しました。会合も簡単には開けなくなりましたから、ＺＯＯＭでやりとりができるよう、会員にアプリの使用法をレクチャーするなどの整備を進めています」と古定会長。新しいものを積極的に取り入れていく姿勢が窺えます。イベント開催についても、「今後はイベントも非接触型で考えていかなければなりません。今動き始めているものですと、『デジタルスタンプラリー』や『なぞときストリート』といった企画があり、対応アプリの準備もできています。糸電話でギネス記録を目指す企画もありますが、現在は保留中です（笑）」と、様々なアイデアがあるようです。

オフィシャルサイトもリニューアル

今後の展望について古定会長は「商店街も地元自治会も若い声が取り上げられやすい環境なので、行政などと連携し、まちを盛り上げていきたい。駅と病院に挟まれた立地を活かし、商店会員に還元できるような事業を展開していけたらと思っています」と熱意を燃やします。